

## 第1回

## 『無冠詞になる名詞』 &amp; 『代名詞の特殊な使い方』

今回は、第1回ということで、あまり複雑ではないものを学んでいきます。それは、“the”や“a/an”といった冠詞が付かない『無冠詞になる名詞』と、“we”“they”“you”といった代名詞の『特殊な使い方』についてです！

今回の練習は、新しい単語や公式を学ぶというより「実はこういうものもあるんだよ」といった、豆知識を学ぶといった感じですね。少しマニアックでもありますが、重要なことでもありますのでしっかり学んでいきましょう！

## Let's Begin!

今回はポイントを3つに分けて説明していきます。

- ポイント① 無冠詞になる名詞
- ポイント② 地名やグループに使う“we”と“they”
- ポイント③ 一般論の説明に使われる“you”

## ポイント① 無冠詞になる名詞

まずは『無冠詞になる名詞』について学んでいきます。今回注目する単語は、

“school” (“college” や “high school” など)、  
“class”, “work”, “bed”, “church”, “TV”

などです。では、『無冠詞になる』とはどういうことなのか、次の例を確認しながら説明していきます！

1. We go to <u>school</u> .	私たちは、 学校に行く。	We go to <u>the</u> school. とはならない
2. He needs to go to <u>work</u> .	彼は、仕事に 行く必要がある。	He needs to go to <u>the</u> work. とはならない
3. He watches <u>TV</u> every day.	彼は、毎日 テレビを見る。	He watches <u>the</u> TV every day. とはならない

このように“go to school”や“watch TV”といった具合に、“school”や“TV”という名詞が使われる場合、名詞に“the”や“a/an”といった冠詞が付かないことがあるのです！この理由は、

### 》『学校』や『テレビ』自体にはなく、『そこ(それ)で行なわれること』に焦点を置いているから

とよく説明されます。例えば、上の例で言いますと以下のように考えられます。

- (1) We go to school.  
→『学校に行くこと』ではなく、『学校で学ぶこと』に焦点を置いている。
- (2) He needs to go to work.  
→『仕事に向かって行く』ではなく、『出社・出勤すること』に焦点を置いている。
- (3) He watches TV every day.  
→『テレビ自体(薄型、安い、画質がきれい)』ではなく、『テレビに映っている番組』に焦点を置いている。

しかし、

### 》このルールは、どの名詞にも当てはまるわけではありません！

例えば、

- (1) I go to the supermarket every day.  
→『スーパーに行くこと』ではなく、『スーパーで買い物をすること』に焦点が置いてあっても冠詞が付く。
- (2) They did not go to the office today.  
→『オフィスに行くこと』ではなく、『出勤すること』に焦点が置かれていても“the”が付く。
- (3) We listen to the radio every morning.  
→『ラジオという箱』ではなく、『ラジオから流れてくる番組』に焦点を置いていても“the”が付く。

のように、当てはまらないことが、多くあります。そこで今回は、理屈ではなく

### 》よく使われる『無冠詞になる名詞』を暗記する

という方法を取ろうと思います。納得のいく説明ができなくてごめんなさい。しかし、幸いなことに、主に使われる無冠詞になる名詞はそれほど多くありませんのでもう一度確認していきましょう！

(1) 学校や大学 (school, elementary school, high school, college, etc)

・ We go to junior high school. → 私たちは行っている・中学校に  
(私たちは中学校に行っている。)

(2) 授業 (class)

・ Did you go to class yesterday? → あなたは行ったの?・授業に・昨日  
(昨日、あなたは授業に行ったの?)

(3) 仕事 (work)

・ When did they come back from work? → いつ彼女らは帰ってきたの?・仕事から  
(彼女らは、いつ仕事から帰ってきたの?)

(4) 教会 (church)

・ I came back from church an hour ago. → 私は帰ってきた・教会から・1時間前に  
(1時間前に、私は教会から帰ってきた。)

(5) テレビ (TV) (主に「テレビ番組を見る」という場合の“watch TV”)

・ She did not watch TV yesterday. → 彼女は見なかった・テレビを・昨日  
(彼女は、昨日テレビを見なかった。)

(6) ベッド (bed)

・ It is time for bed. → 時間・寝るための (寝る時間だ。)

これらの単語が出てきたら、要注意ですのでしっかり覚えておきましょう！

### ポイント② 地名やグループに使う“we”と“they”について

次に学ぶのはちょっと変わった“we”“they”“you”の使い方についてです。まずは、『地名やグループに使う“we”と“they”』について学んでいきましょう。これは、

### 》特定の地名やグループの説明をするのに、本来なら“it”を使って説明をするところを“we”や“they”を使って説明する方法

です…、といっても、全く意味がわからないと思いますので、まずは例をいく

つか確認していこうと思います。

(1) I think my class is really big because we have fifty students.

↳ 私のクラスはとても大きいと思う。なぜなら、私のクラスには50人の生徒がいるから。

(ここで言う“we”は、『私のクラス』という特定のグループを指すのに使われている。考え方は、『私のクラス』というグループというより、『私のクラスのメンバーである私たち』といったイメージ。)

〈練習での表記〉

私は思う・私のクラスは、とても大きいと  
【なぜなら】私たちにはいるから・50人の生徒が

I think my class is really big because we have fifty students.

(2) I love Osaka because they have a lot of cheap restaurants.

↳ 私は大阪が大好き。なぜなら、大阪にはたくさんの安いレストランがあるから。

(ここでいう“they”は、『大阪』という地名を指すのに使われている。考え方は、『大阪』という町ではなく、『大阪に住んでいる人たちがたくさんいる安いレストランを運営している』といったイメージ。)

〈練習での表記〉

私は大好き・大阪が  
【なぜなら】彼らにはあるから・たくさんの安いレストランが

I love Osaka because they have a lot of cheap restaurants.

どうですか？なんとなくわかりましたか？「本来なら“it”が使われるであろうところで“we”や“they”が使われる」ということを理解するのが今回のポイントです。特定の『地域』や『グループ』として捉えるのではなく『その地域やグループに属している人たち』に注目していると考えていきましょう！

## ポイント③ 一般論を述べるときに使われる“you”

そして、最後に一般論を述べる時に使われる“you”についてお話をしていきます。これは次のようなことを言いたい時に使います。

- (1) 日本で電車に乗るには、切符を買う必要があります。  
 (2) このスーパーでビニール袋が必要なら、3円払わないといけない。  
 (3) アメリカで医者になるには、何をする必要がありますの？

という文。これらを、英語にするとどうなるかと言いますと…

- (1) You need to buy a ticket to get on a train in Japan.  
 (2) You have to pay three yen if you need a plastic bag at this supermarket.  
 (3) What do you need to do to become a doctor in America?

となります。このように、一般論を述べる時、日本語では訳されない“you”を使うことが英語ではよくあります。こちらも、今回の練習を通じてしっかり覚えていきましょう！

## b. 日本語を英語にする練習

それでは、今回も日本語をすばやく英語にする練習を行なっていきましょう！しっかり声に出すのがポイントですよ！それでは、練習スタートです！

- (1) 日本語文を英文にしていきましょう！ (目標タイム：3分)

## 日本語文 &amp; 英語文

1. 私たちは行かないといけない・仕事に・今日【なぜなら】月曜日だから

We have to go to work today because it is Monday.

2. 私の父は勤めている・有名な会社に【だけど】彼らには、10人の従業員しかいない

My father works for a famous company,  
but they have only ten workers.

3. 手に入れる必要がある・パスポートを【もし】行きたいなら・海外に

You need to get a passport if you want to go abroad.

4. あなたの職場はとても近い《》なぜあなたは行くの？・仕事に・車で  
Your workplace is really close. Why do you go to work by car?

5. いつあなたは戻ってきたの？・学校から  
《》あなたはしたの？・あなたの宿題を

When did you come back from school?  
Did you do your homework?

6. 私たちの市はユニーク  
【なぜなら】私たちにはあるから・音楽祭が・毎年

Our city is unique  
because we have a music festival every year.

7. どれくらい頻繁にあなたたちは見るの？・テレビを  
《》あなたたちは見るの？・毎日

How often do you watch TV?  
Do you watch it every day?

8. 勉強する必要がある・とても熱心に  
【もし】行きたいなら・ハーバード大学に

You need to study really hard  
if you want to go to Harvard University.

9. マークは通った・大学に【だけど】彼は卒業しなかった  
【なぜなら】彼は思ったから・意味がないと

Marc went to \*college, but he did not graduate  
because he thought it was meaningless.

10. 私は思わない・この会社は良いと  
【なぜなら】彼らは売らないから・良い商品を

I do not think this company is good  
because they do not sell good products.

11. 私は布団に入った・12時に・昨夜【だけど】私は寝られなかった  
【なぜなら】私はとても緊張していたから

I went to bed at twelve last night, but I could not sleep  
because I was really nervous.